



みんな頑張った 持久走大会 11月29日(火)

ほとんど雲の無い青空の下、走るには絶好のコンディションの中で、今年度の持久走大会が行われました。当日は、早朝からPTAの本部役員と保健体育部員の皆さんには、学校周辺の落ち葉等の清掃や、交通指導員の皆さんと一緒に児童の安全確保をご協力いただきました。大変ありがとうございました。

運動会が終わってから持久走大会までのおよそ2か月半、どの学年の児童も、持久走大会に向けて、朝や休み時間に校庭を一生懸命走っている姿をたくさん見る事ができました。



体を鍛えるということでは、持久走はとても適した運動といえます。自主的に体を鍛えた成果が本番で発揮されたことと思います。さらに、たくさんのご家族の皆様からの温かいご声援で、普段以上の力を発揮できた児童もいたことでしょう。

また、今回は、桜木幼稚園と広沢保育園の子供たちが熱心な応援をしてくれました。ありがとうございました。

今年度は、全校児童のうち113人の児童が、特に練習に励んだ「努力賞」をもらいました。素晴らしい頑張りだと思います。(努力賞をもらった人が昨年度より増えていました)



各学年男女3位までの入賞者

学年	男 子			女 子		
	1 位	2 位	3 位	1 位	2 位	3 位
1年	野村 颯太	高柳 歩睦	須田 士温	今井 梨羽	今井 梨愛	寺脇 知優
2年	津久井優太	上島 隼矢	濱本 藍日	原田 和璃	岩淵 心夏	滝浦 瑞季
3年	山下 貴弘	持丸 叶夢	柿田 篤輝	丹羽 ・水	百海 鈴	大塚 実桜
4年	坂田 希武	原田 葵唯	板橋 春空	三武 灯	中里 優美	木暮 美姫
5年	佐藤 琉真	須永光太朗	坂上 公希	加藤 ゆい	桑原 悠羽	丹羽 ・美
6年	金井 柚樹	・田 珀都	吉崎 大地	富原望々香	阿部 ナオ	堀口 彩葉

人権週間での取組・・・人権講話 12/4(月)

「すべての人間は、生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」で始まる「世界人権宣言」が、1948（昭和23）年12月10日、パリでの国連総会で採択されたのを記念し、12月10日は「世界人権デー」となっております。日本では、この日に合わせ、12月4日から10日までを人権週間と定め、人権尊重思想の普及高揚を図るため、全国各地でいろいろな行事が行われます。



本校でも、この時期に合わせ、人権に視点を当てた授業実践を行ったり、人権ビデオを観たり、人権標語やポスターを作製したりし、人権についてじっくり考える取組を行っております。その中で、初日の4日（月）には、全校朝会で、「違いを大切に」というお話をしました。

人権講話から

現在、世界の人口は何人ぐらいだと思いますか？ 74億人です。

その74億人の中には、全く自分と同じ人はいません。

それは、親子であっても、兄弟であってもです。当たり前のことですね。

では、皆さんは、人は違うのが当たり前ということを意識しているでしょうか。

皆さんの周りには、たくさんの方がいます。家族や友達、近所の人。その誰もが、みんな同じ人はいません。顔や声、性格、考え方など、みんな違うのです。生まれた国が違う人もいますね。

でも、この違いのために、差別されたり、馬鹿にされたりしていじめられてしまうことがあります。もっとひどくなると、生まれた国が違う、宗教が違う、肌の色が違うということで、殺されてしまう時代もありました。

では、そんな悲しいことが起きないようにするにはどうしたら良いでしょう。

普段から、人は違うのが当たり前ということを意識すること、そして、自分と違う所を認め合うことだと思います。

様々な違いがあるということは、とても素敵なことです。

授業中に、色々な考えが出てくるから面白いのです。全員が同じ考えだったら、全員が○か×になってしまって勉強になりません。友達と遊んでいてもそうです。いろいろな性格の友達がいるから面白いのです。サッカーが得意、野球が得意、水泳が得意、ゲームが得意な友達がいるから、遊んで面白いのです。

それぞれ友達の違うところを、その人の良いところ、素敵なおところと認め合うことで、相手を大切に、思いやりをもって付き合っていけるそんな関係ができるのです。

世界中の74億の人たちが皆、そういう考えを持てれば、傷つけ合ったり、戦争したりしない世の中になると思います。そんな世界になることを願います。



報告

先月、学級委員会が中心となって校内で行った赤い羽根募金について、11,721円集まりました。社会福祉協議会を通して寄付させていただきました。ご協力、ありがとうございました。